

科学的知見の創出に資する可視化(2)： 「新しい可視化パラダイム」

日時 令和元年 7月 13日 (土)

13:00 ~ 18:00

会場 日本学術会議講堂 外1室

東京都港区六本木 7-22-34

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

入場無料、事前申し込み不要

当日はお名刺をご用意ください

主催 日本学術会議 総合工学委員会

科学的知見の創出に資する可視化分科会

共催 日本工学会、可視化情報学会、日本シミュレーション学会、画像電子学会、芸術科学会、
情報処理学会コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究会、画像情報教育振興協会 (CG-ARTS)



データ可視化は1980年代後半に欧米の研究機関から研究開発が開始され、この三十有余年の間、あらゆる学理に必要な不可欠な技術として浸透してきました。それを今後さらに発展させていくためには、新たなパラダイム(基本理念)を策定する必要があります。昨年12月に開催した第1回科学的知見の創出に資する可視化シンポジウムに引き続き、本シンポジウムでは、可視化と接点をもつ情報学周辺の最新シーズの利活用に加え、可視化が重要な役割を果たしてきた代表的な応用分野からの新たなニーズの発掘、そして可視化情報の最終評価者である人間がもつ視覚心理の本質的理解の三方向からこの課題にアプローチし、新たな提言へと繋げていく布石としたいと考えております。可視化技術に興味をもつ多くの方々にご参加いただければ幸いです。

プログラム

- 13:00 開会挨拶 小山田 耕二 (日本学術会議会員, 京都大学 学術情報メディアセンター 教授)
- 13:10 趣旨説明 藤代 一成 (日本学術会議連携会員, 慶應義塾大学 理工学部 教授)
- 13:20 宇宙物理学におけるデータ可視化と可視化研究への期待
講師: 植村 誠 (広島大学 宇宙科学センター 准教授)
司会: 藤代 一成 (日本学術会議連携会員, 慶應義塾大学 理工学部 教授)
- 14:20 可視化のためのインタラクション省力化の試み
講師: 伊藤 貴之 (お茶の水女子大学 理学部 教授)
司会: 小山田 耕二 (日本学術会議会員, 京都大学 学術情報メディアセンター 教授)
- 15:20 顔の可視化問題
講師: 蒲池 みゆき (工学院大学 情報学部 教授)
司会: 田中 覚 (日本学術会議連携会員, 立命館大学 情報理工学部 教授)
- 16:30 パネル討論「日本発の新しい可視化パラダイム像とは？」
ファシリテータ: 藤代 一成 (日本学術会議連携会員, 慶應義塾大学 理工学部 教授)
討論者: 前半の部の講演者・司会者・その他分科会メンバー
- 18:00 閉会挨拶 萩原 一郎 (日本学術会議連携会員, 明治大学 研究・知財戦略機構 特任教授)